

## 第4次読書のまち八王子推進計画に基づく

### 令和2～4年度 図書館部事業実施計画（案）

#### 1 事業実施計画策定の目的

令和2年（2020年）3月に策定した第4次読書のまち八王子推進計画では、身近な読書環境の整備に向け、施策の方向性を明確にした。一方で、具体的な取組内容や実施時期、個別の指標等については、計画段階では明確に示すことができなかった。また、令和2年（2020年）2月から流行が始まった新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市民生活や読書環境にも変化が生じてきている。

このことから、重点的に取り組む事業を明確にするとともに、コロナ禍における「新しい生活様式」を踏まえた新規取組も加え、市民の読書環境の向上を図るため、事業実施計画を策定する。

#### 2 コロナ禍における読書環境の変化について

新型コロナウイルスの感染拡大により、ソーシャルディスタンスの確保や手指の消毒など感染防止対策を講じながら、社会経済活動を行う「新しい生活様式」の実践が必要となっており、オンラインによるリモート会議システムの利用やテレワークの普及など、市民の生活環境も変化を余儀なくされている。そのような社会状況の変化の中で、図書館サービスや市民の読書環境等の現状について、以下のとおりまとめる。

##### （1）図書館サービスの変化について

まず、図書館サービス全体については、コロナ禍以前の図書館においては、図書館に来館する市民を対象に大半のサービスを展開してきた（以下「来館型サービス」とする。）。一方、コロナ禍においては、いわゆる3密を回避し、感染拡大を防止するため、感染状況に応じて、イベントの中止や開館時間を制限するなど来館型サービスを縮小せざるを得ない状況となっており、従来と同様の規模のサービスを展開することは困難な状況となっている。【資料編4頁】

また、図書消毒機の設置【資料編3頁】や館内施設の消毒など感染防止対策は講じているものの、市民自らも自粛生活の中で、図書館の来館を控える傾向にあり、来館者数及び貸出冊数は、前年度と比較しても、大幅に減少している。【資料編2頁】

一方で、開架閲覧が制限される中においても、市民の読書の機会を提供するため、「図書館おすすめのブックパック」など新たな取組も試行的に実施し、メディアにも取り上げられるなど、一定の評価を受けている。【資料編3頁】また、自粛生活の中で、市民のオンラインでの活動が活発化してきているため、八王子市図書館では、平成30年度から導入した電子書籍サービスのコンテンツの拡大やオーディオブックの導入、これらの利用を促進するための電子メールでの仮利用者登録などを実施し、市民の身近な読書環境の整備に努めてきた。

##### （2）市民の読書環境等の変化について【資料編5～18頁】

新型コロナウイルス感染症の拡大時期においては、緊急対応として、上記の図書館サービスを試みてきたが、感染の拡大が一定程度収束し、市民の社会経済活動が再開する中においては、「新しい生活様式」における市民の読書環境の変化を的確に捉え、身近な読書環境の整備を進めるための施策を展開していく必要がある。そこで、9月に実施した市民の読書環境等に関する緊急アンケート調査（以下「アンケート」と表記する。）の結果や関係団体へのヒアリング等を踏まえ、コロナ禍における市民の読書環境等の変化を捉える。

#### ア コロナ禍における読書時間について

アンケートでコロナ禍における読書時間の变化を聞いたところ、コロナ禍以前と比べ、「読書するようになった」と読書の時間が「増えた」を合わせた割合は、一般で25.2%、図書館利用登録者で41.9%となっており、市民の読書のニーズは増えているといえる。

#### イ コロナ禍における図書館に求められるサービスについて

アンケートで今後図書館に望むサービスについて聞いたところ、一般・図書館利用登録者共に、「自動貸出返却機の設置」の割合が最も多いが、別の設問においては「カウンターで人と接すること」を不安に思うという回答や「カウンターでの対面サービスなどでの感染リスク」を来館しない理由とする回答は少なく、潜在的な図書館ニーズの表れと判断できる。

また、「自動貸出返却機の設置」に次いで、多かった回答は、電子書籍サービスなどのWEBサービスの充実やSNS等を使ったサービス、出張型図書館となっており、来館型のサービスではなく、非来館型や出張型のサービスが求められている。

#### ウ コロナ禍における障害者・高齢者サービスについて

関係団体のヒアリングの中では、感染に不安をもつ障害者は、特に図書館への来館を控える傾向があり、オンラインによるレファレンスなどを希望する意見もあった。

高齢者の外出も同様の傾向にあるが、高齢者で構成される生涯学習の団体「八王子千人塾塾生の会」では“ZOOM”アプリを活用したオンラインでの研究発表を行うなど、ソーシャルディスタンスに対応した新たな活動を模索する動きも見られた。

また、視覚障害者等の音訳サービスを担うボランティア団体も、外出・移動に伴う感染リスクを警戒し、図書館における活動継続に対して消極的な意見もあり、利用者へのサービス提供が一時的に停滞する状況もあった。障害者・高齢者への読書活動支援は、ボランティアとの協働によるものも多く、オンラインの活用を含め柔軟な対応が必要である。

### 4 新たな課題

以上のコロナ禍における読書環境等の現状を踏まえ、第4次計画で設定した課題を前提として、「新しい生活様式」に沿った身近な読書環境の整備を進める上での新たな課題を整理する。

#### (1) 既存の図書館サービスの見直し

「新しい生活様式」の中では、来館型サービスの量的拡大は、難しい状況となっているが、地域の情報拠点として、短い時間でも良質な情報にアクセスできるようサービスの質的向上を図る必要がある。

また、市税収入の落ち込みが予想される中、既存の図書館サービスの量的・質的見直しを視野に入れる必要もある。

#### (2) 来館者サービスの非来館型・出張型サービスへの組み換え

「新しい生活様式」における市民の読書ニーズの高まりを踏まえ、来館者サービスを縮小するとともに、非来館型・出張型サービスへの転換を図ることで、より効率的・効果的な図書館サービスの提供を進めていく必要がある。

## 5 重点施策

### (1) 乳幼児の読書活動支援

#### ア 出張型おはなし会の実施【新規】

公園・保育園・幼稚園・市民センターなど図書館外へ出張・連携し、おはなし会を実施するとともに、読書の普及啓発や図書館事業の情報発信を行い、読書習慣の形成を図る。

#### イ 出張型利用者登録の実施【充実】

ブックスタート（0歳児の利用登録者数）や出張型おはなし会の機会を捉え、利用者登録を実施することで、乳幼児や保護者の図書館利用を促進する。

### (2) 図書館おすすめの“ぶっくぱっく”

図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出すという施策。

#### ア 乳児向け“ぶっくぱっく”【継続】

「忙しくてゆっくり選ぶ時間がない」「どのような本を選んで良いかわからない」という子育て世代の方や読み聞かせをする本の傾向が偏ってしまうという方などに向け、普段は手に取らないジャンルや作者の本との出会いを提供し、読書の幅を広げることで、読書の質を高めるとともに、乳幼児期の読書習慣の形成を図ることを目的とする。

#### イ YA向け“ぶっくぱっく”【継続】

多感な中高生に向け、読書の幅を広げ、読書習慣の定着を図ることを目的とする。

#### ウ 大人向け“ぶっくぱっく”【継続】

普段は手に取らないジャンルや作者の本との出会いや学び直しのきっかけを提供し、読書の幅を広げることで、読書の質を高めることを目的とする。

### (3) 学校図書館連携

#### ア 学校団体貸出【継続】

中央図書館と学校図書館サポートセンター（学校教育指導課）とが連携し、市内小中学校の学校図書館（図書室）へ資料の貸出を行うことで小中学校の事業や児童・生徒の読書活動を支援することを目的とする事業。資料には、調べ学習で活用するための「授業補助用」と教室に常置して利用するための「学級文庫用」の2種類がある。

### (4) 新たな読書空間“パークライブラリー”

#### ア 南大沢図書館パークライブラリーの実施（春・秋2回）【新規】

としょかんこどもまつりや図書館まつりに代わる新たな取組として、南大沢図書館周辺の公園を活用し、新たな読書空間の創出やおはなし会等のイベント実施することで、「新しい生活様式」における身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与する。

### (5) 「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備

#### ア 図書消毒機の設置【令和2年度実施済み】

「新しい生活様式」において、市民が安心・安全に図書館を利用できるよう、7月頃から図書消毒機を設置した。

#### イ 予約資料の受取ポイントの増設【新規】

図書館への来館者数が減少する中、図書館へ来館せずに、予約した資料の受取ができるよう、図書館以外の公共施設や民間施設を活用し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。

## (6) 非来館型サービスの拡充

### ア 電子書籍サービスの拡充【充実】

インターネットにつないだパソコンまたは iPad、iPhone、Android 等のスマートフォン・タブレットを使用して、24 時間どこにいても貸出、返却ができ、電子書籍を読むことができるインターネット上のサービス。「新しい生活様式」におけるニーズの高まりを受け、コンテンツの拡充を図る。

### イ オーディオブックの拡充【充実】

6月1日から、通勤・通学時の読書機会の拡大など、さらなる図書館サービスの向上と、読書バリアフリー法への対応として、書籍を音声で聴くことができる「オーディオブック」の配信サービスを導入した。今後は更なるコンテンツの充実を図る。

### ウ 非来館型の利用者登録の実施【新規】

電子申請フォームや郵送により、図書館に来館せずに、図書館利用者登録ができるようにすることで、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。

## (7) 障害者・高齢者サービスの拡充

感染リスクを理由に外出すること自体に慎重となる傾向があるため、利用者のデジタル環境や機器の習熟度を考慮しながらオンラインサービスの検討を進める。読書バリアフリー法への対応を中心に、高齢者の読書活動についても幅広く支援する。

### ア 音訳・点訳資料、電子書籍等の拡充（視覚障害者等の読書環境の整備の推進）

### イ 高齢者施設への読書活動支援、認知症やフレイル予防等の施策に役立つ事業開催

### ウ ボランティアの育成及び団体への支援強化、専門職の研修

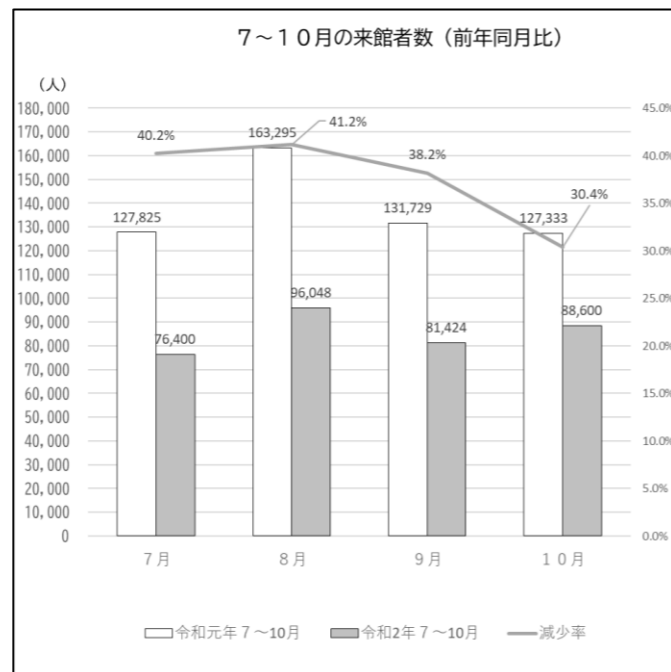
1 事業実施計画策定の目的

- ① 第4次読書のまち八王子推進計画における重点施策の明確化
- ② コロナ禍における「新しい生活様式」を踏まえた新たな取組の明確化

2 コロナ禍における読書環境の変化

図書館サービスの变化

- 来館型サービスの縮小
  - ・ 開館時間の縮小
  - ・ 館内イベントやボランティア活動中止
  - ・ 来館者数、貸出冊数、実利用者数の大幅な減少
- 新型コロナウイルス感染防止対策
  - ・ 館内の消毒
  - ・ 図書消毒機の設置
- 非来館型サービスの拡充
  - ・ 電子書籍サービスの拡充
  - ・ オーディオブックの開始
  - ・ 非来館型の利用者登録の試行実施
  - ・ 宅配サービスの導入
- 出張型サービスの試行
  - ・ ブックスタートにおける出張利用者登録
  - ・ 南大沢図書館パークライブラリー



市民の読書環境等の変化

- 読書時間の増加
- ジャンルの変化
- 図書館ニーズの変化
- 図書館への来館を控える傾向

3 新たな課題

- ① 既存の図書館サービスの見直し
- ② 来館者サービスの非来館型・出張型サービスへの組み換え

4 重点施策

- ① 乳幼児の読書活動支援
  - 出張型おはなし会の実施【新規】
  - 出張型利用者登録の拡充【新規】
- ② 学校図書館連携
  - 学校団体貸出【継続】
- ③ 図書館おすすめの“ぶっくぱっく”
  - 乳幼児向け“ぶっくぱっく”【継続】
  - YA向け“ぶっくぱっく”【継続】
  - 大人向け“ぶっくぱっく”【継続】
- ④ 新たな読書空間“パークライブラリー”
  - 南大沢図書館パークライブラリーの実施【新規】
- ⑤ 「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備
  - 予約資料の受取ポイントの増設【新規】
    - 市民センター等の活用
    - コンビニエンスストアの活用
- ⑥ 非来館型サービスの拡充
  - 電子書籍サービスの拡充【充実】
  - オーディオブックの拡充【充実】
  - 非来館型利用者登録の実施【新規】
- ⑦ 障害者・高齢者サービスの拡充
  - 音訳・点訳資料、電子書籍等の拡充（視覚障害者等の読書環境の整備の推進）【充実】
  - 高齢者施設への読書活動支援、認知症やフレイル予防等の施策に役立つ事業開催【充実】
  - ボランティアの育成及び団体への支援強化、専門職の研修【充実】



5 スケジュール等

【別紙】参照



【別紙】第4次読書のまち八王子推進計画に基づく令和2～4年度図書館部事業実施計画体系（案）

基本指針	基本方針	施策の方向性	施策名	取組番号	具体的な取組	概要	事業期間			
							R2	R3	R4	
「いつでも、どこでも、だれでも」読書に親しめるまち八王子	①すべての世代への切れ目ない読書活動支援	1 乳幼児	乳幼児の読書活動支援	1	出張型おはなし会の実施【新規】	公園・保育園・幼稚園・市民センターなど図書館外へ出張・連携し、おはなし会を実施するとともに、読書の普及啓発や図書館事業の情報発信を行い、読書習慣の形成を図る。	調整中			
				2	出張型利用者登録の拡充【充実】	ブックスタート（0歳児の利用登録者数）や出張型おはなし会の機会を捉え、利用者登録を実施することで、乳幼児や保護者の図書館利用を促進する。				
			3	乳幼児向け“ぶっくぱっく”【継続】	図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。「忙しくてゆっくり選ぶ時間がない」「どのような本を選んで良いかわからない」という子育て世代の方や読み聞かせをする本の傾向が偏ってしまうという方などに向け、普段は手に取らないジャンルや作者の本との出会いを提供し、読書の幅を広げることで、読書の質を高めるとともに、乳幼児期の読書習慣の形成を図ることを目的とする。					
		2 小・中学生	学校図書館連携	4	学校団体貸出【継続】	中央図書館と学校図書館サポートセンター（学校教育指導課）とが連携し、市内小中学校の学校図書館（図書室）へ資料の貸出を行うことで小中学校の事業や児童・生徒の読書活動を支援することを目的とする事業。資料には、調べ学習で活用するための「授業補助用」と教室に常置して利用するための「学級文庫用」の2種類がある。				
				5	YA向け“ぶっくぱっく”【継続】	図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。多感な中高生に向け、読書の幅を広げ、読書習慣の定着を図ることを目的とする。				
			図書館おすすめの“ぶっくぱっく”（再掲）	6	大人向け“ぶっくぱっく”【継続】	図書館司書が選んだ本を3～5冊にパック化し、お楽しみパックとして貸し出す事業。普段は手に取らないジャンルや作者の本との出会いや学び直しのきっかけを提供し、読書の幅を広げることで、読書の質を高めるとともに、読書習慣の定着を図ることを目的とする。				
				7	学びの場・地域の情報拠点としての機能の充実					
	②つながりによるサービス展開	8 図書館と関係のある団体などの連携による読書のまちづくり	7	新たな読書空間“パークライブラリー”の実施【新規】	としょかんこどもまつりや図書館まつりに代わる新たな取組として、南大沢図書館周辺の公園を活用し、新たな読書空間の創出やおはなし会等のイベント実施することで、「新しい生活様式」における身近な読書環境を整備するとともに、読書の普及啓発や図書館情報の効果的な発信を行い、地域の情報拠点として地域コミュニティの活性化に寄与する。					
			9	行政連携の拡充						
	③だれもが快適に読書に親しめる環境の整備	10 利用者目線での身近な読書環境の整備	「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備	8	図書消毒機の設置【継続】	「新しい生活様式」において、市民が安心・安全に図書館を利用できるよう、図書消毒機を設置する。				
				9	予約資料の受取ポイントの増設【新規】	図書館への来館者数が減少する中、図書館へ来館せずに、予約した資料の受取ができるよう、図書館以外の公共施設や民間施設を活用し、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。				
			非来館型サービスの拡充	10	電子書籍サービスの拡充【充実】	インターネットにつないだパソコンまたはiPad、iPhone、Android等のスマートフォン・タブレットを使用して、24時間どこにいても貸出、返却ができ、電子書籍を読むことができるインターネット上のサービス。「新しい生活様式」におけるニーズの高まりを受け、コンテンツの拡充を図る。				
				11	オーディオブックの拡充【充実】	令和2年6月1日から、通勤・通学時の読書機会の拡大など、さらなる図書館サービスの向上と、読書バリアフリー法への対応として、書籍を音声で聴くことができる「オーディオブック」の配信サービスを導入した。今後は更なるコンテンツの充実を図る。				
		11 高齢者サービスの展開 12 障害者サービスの展開 13 多文化サービスの展開	障害者・高齢者サービスの拡充	12	非来館型利用者登録の実施【新規】	電子申請フォームや郵送により、図書館に来館せずに、図書館利用者登録ができるようにすることで、「新しい生活様式」における身近な読書環境の整備を図る。				
				13	高齢者設への読書活動支援、認知症やフレイル予防等の施策に役立つ事業開催【充実】	調整中				
14				音訳・点訳資料、電子書籍等の拡充【充実】 （視覚障害者等の読書環境の整備の推進）						
15				ボランティアの育成及び団体への支援強化、専門職の研修【充実】						